

国立市議会議員※一人会派《こぶしの木》

〒186-0002 東京都国立市東3-11-12 / 1 口一国立103 発行:上村和子事務所 tel & fax: 042-580-2780 e-mail: kobusinoki.uemura@nifty.com -ムページ:http://homepage2.nifty.com/uemura_kazuko/

いました。

学習会の 案内

護法施行、

集団的自衛権容認、

■長野県阿智村・満蒙開拓平和記念館訪問報告会

地方自治と教育を考える

昨年12月、国立の市民グループが長野県 阿智村・満蒙開拓平和記念館を訪問し、記 念館専務理事・寺沢秀文さん、前阿智村村 長・岡庭一雄さんのお話をお聞きしてきま した。その報告会です。あわせて、国立の 教育の現状についても話し合います。

●報告者:佐々木茂樹さん(国立の教育を 守る市民連絡会)

●日時: 1月24日(土)19時~21時

場所:国立市公民館・集会室

●主催:くにたちのまちの問題を考える会

■山家悠紀夫さんの講演会と上村和子との対談

日本経済と暮らしの今、 て国立市の財政を考える

【第1部】講演「日本経済と暮らしの現状-アベノミクスがもたらしたもの」

●講師:山家悠紀夫さん(暮らしと経済研 究室)

【第2部】上村和子との対談「国立市の財政 -お金がないというのは本当か」

●日時:2月1日(日)13時半~16時

場所:さくらホール(国立商協ビル2階)

●主催:こぶしの木

■宇都宮健児さんと上村和子との対談

貧困・人権、自治の問題を語り合う

前・日弁連会長で、長年クレサラ問題など、 日本の貧困問題に弁護士として最前線で活 動されている宇都宮健児さんと、4期16年、 国立市会議員として、一貫して命の大切さ をうったえてきた上村和子との対談です。

●日時: 2月28日(土) 18時~21時

場所:さくらホール(国立商協ビル2階)

●主催:宇都宮健児さんと上村和子さんの

対談を実現させる実行委員会

政権が継続されることになってしま 昨年12月の衆院選挙の結果、 時 2015年がスタートしました。 代 0 岐 路 に 立 自公 つ

略に振り回された、 倍政権の寿命を引き延ばすための戦 で選挙しなければならないのか。 わざ年末の気ぜわし 選挙の争点にしても、 まだ任期は残っているのに、 00億円以上もかけて、 い時に解散し いかな

立っています。 私たちは、 和な時代を引き継いでいくため 子どもや孫の世代に、 時代の岐路、

が消えていく危ない時代が目前に来 たことを感じます。 ていくと予想されます。 央集権的全体主義の政治を推し進め 大限に活かさなければと思いま 個人と地方 地方自治を 正念場に

で初めて「ヘイトスピーチを含む社 やっと実現しました。 会的マイノリティ 私が初めて提案し への差別を禁止す 全国 7 から の自治体 10

再稼働、 議論されませんでした。 のちに関わる重要政策はきちんと 憲法改悪といっ た 和

は 地方自 治

安倍政権は、

これからますます中

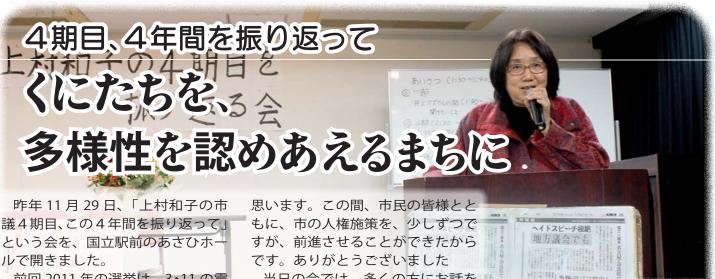
国立市では、 け合って暮らせるまち 多様な生き方を保障、 誰も排除しない人権

となりました。 社会を意味するソーシャルインク 局と議会がともに共有する基本理念 ルージョンのまちづくりが、 市長部

も議会でしっかり発信していきます。 と衆参両院議長に出すこともできま 宣言の条例づくりも始まっています。 きるオンブズマン制度の創設、 る法整備を求める意見書 社会的弱者の小さな声をこれから いしゃがあたりまえに暮らすまち 子どもや女性の人権に対応で を、 首相

施策を市民の皆さまと作 いと思います。 地域で生きる人々の権利を守る っていきた





前回 2011 年の選挙は、3・11 の震 災直後で、私自身は、「こんなこと やっていていいのだろうか?」と思 いながら、余り気の乗らないままに 臨んだ選挙でした。しかし、幸いな ことに、皆さまのおかげで当選する ことができました。

その時から、間もなく4年となり ます。今、振り返りますと、「やっぱ 議員をやれていてよかった」と

当日の会では、多くの方にお話を いただき、また、メッセージを寄せ ていただきました。ここに、そのう ちのいくつかの、お話とメッセージ 部をご紹介します。

皆さまの励ましを頂戴して、「くに たちを、一段と、多様性を認めあい、 排除のない風通しの良いまちにして いきたい」と改めて思いました。 れからもよろしくお願いします。

取り組んでいる上村和子さ

相だと思うんです。戦争ぐらい 憲法9条で、 良くないものはない。日本は、 て仕方ない、戦争に向けての首 安倍首相は、 戦争をやりたく なります。

私は12月の誕生日で満93歳に

きました。しかし、やはり今も た。「二度と騙されない」と、私 いていることに気付かなかっ 天皇は現人神なんだと、騙され に負けるまで、日本は神の国だ、 い!」から始まりました。戦争 が私に誓って、戦後70年生きて これほど騙されているか。 内田樹さんの『街場の戦争

論』という本を読んで、すごく

罪ではないので、戦争でいくら ショックだったのは、 だって思いました。 戦争は絶対やってはいけないん あったことです。改めて、もう 人を殺してもいい、と書いて

の国を独立国、 100年でも、アメリカが日本 なりになっています。来年敗戦 で失い、今でもアメリカの言う 何を失ったのか」を問う知力ま 70年ですが、71年でも80年でも い負け方をして、「自分たちが 日本は戦争で、救いようのな 主権国家と認め

戦争は犯

ことをアメリカに言われた通り ぶんでいます。日本はあらゆる の怖さを言っていかなきゃ メリカの属国だから仕方ないん にやらなきゃいけないんだ、ア 相になるんじゃないかと私は危 に、もっともっと、本当の戦争 だと自民党に票を入れる人たち

略戦争をやったんだ、と。そし いと思います。 新たにみんなで共有していきた て戦後70年、その70年の反省を、 ないんじゃないかな……。 もう一度私たちは、 【元国立市議 日本は侵

今ではいろいろな問題に てまで問 題に取り組んでく

うがいしゃが置かれる実態 からです れる芯の通った議員です。 も上村さんの協力があった なエレベーターになったの くれました。国立駅が大き を知り、一緒に歩んできて れないのは上村和子がいる 国立市議会が問題意識がず 上村さんは、私たちしょ

> 国立市は違うなと感じま 方の実態を見聞きすると、 す。でも他の区市町村や地

らでしょう。

のような議員が存在したか きたことに加え、上村さん 行政に対して闘いを続けて す。それは当事者がずっと

んは違います。

上村さんは、自分を置い

しょうがいしゃの立場から

井絹子さんのお話

上村さんは、

正しいと思

だきます。

の立場からお話させていた んですが、しょうがいしゃ

ます。議員は偉そうにして ら損得なしに。 えばとことん身を投じま 私は接しられたんだと思い と似たところがあるから、 す。猪のように走り出した たのです。しかし、 くないという気持ちがあっ 口先だけ、言葉も交わした ての上村和子じゃなく、 …。だから私は議員とし 人、お世辞が言えない人 嘘のつけな

も一緒に行動してくれまし 得しました。3年かかりま 式の電動車いすが乗れる18 て使いやすいトイレにしま た。国立駅のトイレも広く したがずっとJRとの交渉 人乗りのエレベーターを獲 からです。ストレッチャー

題に取り組んでくれる上村私は、命を大事にして問 なとつくづく思います。 さんがいてくれてよかった 【ライフステーション ワンステップかたつむり

ない限り、 半永久的に敗戦状態

今度の選挙も、安倍がまた首

怖さをもつともつと知ろう

●井上スズさんのお話

武器は持たないと決めているの

私の戦後は「もう騙されな

一人一人の人権が大切にされる町に*誰もがのびのびと生活できる町に

しゃにとって住みよい町に

国立

市は、

しょうが

す。もちろんまだまだ足ら なっていることを痛感しま

ないことは山ほどありま

る制度設計を進めており も・子育て新制度」に対応す 年度から施行される「子ど

国立市は現在、2015

林敏之さんのお話

仕事の事情で長時間利用者 時間認定された利用者が、

と同じく11時間利用した場

女性問題へ ◆E・Yさんからのメッセージ 身的 取り組み

の女性議員のとうてい及ばないところ 女性問題への献身的な議員活動は他 上村議員の4期目を振り返るとき

あると思います。しかしその一方で、 女性であるがゆえに受けている複合的 DV被害女性や生活困難者といわれる 女性たちの活躍には目覚ましいものが 国立市は市民運動も盛んで、中でも の当たらない場所にいる女性たち、

> せん。 行政の怠慢といっても過言ではありま す。女性たちの市民力に依存してきた がちになり、行政が責任をもって支援 ちへの支援は、女性市民の善意に頼り するしくみや体制がとても不十分で な差別の中で日々あえいでいる女性た

私も仕事としてDV被害者支援・女 村議員は最前線で頑張っています。 こうした状態を何とかしたいと、上

> きました。 性自立支援に携わることから、上村 議員のお手伝いをさせていただいて

連携会議の設置、④女性総合相談の設 の増員)、③男女共同参画担当、庁内 の導入等)、②女性支援係の設置 内組織体制の整備、スーパーバイザー ては、①DV被害者支援の体制整備(庁 この間の上村さんの努力の成果とし 等々があります。 (職員

しかし、まだまだ課題も多くありま 「推進計画」の策定とその中でのDV 「国立市男女平等推進条例」もしく

成などがそれです

上村議員の姿に共感し、 つけなかった政策に一人でも取り組む いきたいと思います。 これまで日の当たりにくい誰も手を 作るという夢を実現すべく活動してい クト研究会に携わり、さまざまな生き の「女性の居場所―実家」作りプロジェ 復し自分の人生に希望を見出せる場を ながりから、生活困難女性支援のため にくさを抱える女性たちが、心身を回 私は、現在、これも上村議員とのつ

共に努力して 女性相談員

円の延長保育料が生じます 合には1回あたり1000 す。 対策基本計画の作

6時15分以降の通常の延長 保育料と同額)。 、朝夕各500円ずつ。午後

です ります。私立の場合は施設 たっては慎重な検討が必要 しょう。条例の制定にあ ため負担はさらに増すで ごとに延長保育料が異なる 育料月額を上回る計算にな ただけで長時間利用者の保 延長保育を1回利用

現状に近い基準を定め、保 き国立市は国基準より高く 基準や保育士配置基準につ れました。保育施設の面積 議会でも関連条例が採択さ

育運動団体からも評価され

しかし長時間(11時間)・

立場から保育の現場を見

す。 い厳しい条件の中で維持さ く若年層に偏らざるを得な 水準が、職員の定着率が低 しますが、私立の高い保育 育園の民営化も諮問されま 育に違いはない」と繰り返 保育審議会には公立保 市は「公立と私立の保

減額にとどまり、正規雇用 間保育に比して1・7%の 短時間保育の保育料は長時 日の保育審議会答申では、 が大きな問題です。10月28 短時間(8時間)の認定区分

でないなどの理由により短

的助成の強化ではないで 育園の職員がより安心し きです。必要なのは私立保 しょうか。 て働けるようにするため れている現実を直視するべ 私立保育園に対する公

事件では被害者家庭に寄り りまとめ、朝鮮人差別ビラ が合意できる工事計画を取 当事者に寄り添って行動し 採択を主導するなど、常に 必要不可欠です。 る法整備を求める意見書の 存在は国立市民にとって、 てきた上村和子議員。その スピーチなど差別を禁止す 工事問題では市と保護者と なかよし保育園の耐震 全国初となるヘイト

【私立保育園保護者・ 国際関係学研究者

BTアクティビストの東小

きでその問題に取り組めな

上村市議は「当事者抜

い」という信念から、LG

う公式な場でLGBTの人

でなさいました。議会とい ことを2ヶ月ほどの短期間

権を守るための質問を上村

セクシュアル・マイノリティへの取り組

み

宮崎浩一さんからのお便り

的少数者」を表しています。 の性のあり方を含んだ「性 頭文字をとった言葉で、 されてきた上村市議が温め い意味として、その他多く ン、ゲイ、バイセクシュア てきた課題がLGBTで 年、平等な社会のため活動 質問を傍聴した時です。長 ぶられたのは、12月8日に る言葉の厳しさに心を揺さ 熱と命への真摯さにあふれ 上村和子市議会議員の一般 温もりある声ながら、情 トランスジェンダーの LGBTとはレズビア 雪さん、増原裕子さんカッ せ、次に結びつけるという 方の気持ちに変化を起こ を提供し、そこから市職員 ました。 方に、現状と提言をお話し 以下国立市幹部など14名の でに参加人数は増え、市長 証だと思いますが、当日ま ました。これまでの上村さ 話す機会を作っていただき ル・マイノリティについて プルと私に、セクシュア し、そして市議会で答弁さ んの成果、姿勢への信頼の 当事者が声をあげる場

れは全国でも非常に珍しい ことです。 市議がなさいましたが、

りました。 的にLGBTの問題に身 ること、また、市長も積極 を深めるために研修をす 守るための大切な一歩とな を置くと答え、セクシュア ル・マイノリティの人権を この答弁で市は、 認 識

のが、上村和子さんだと思 課題は多くありますが、そ ジョリティ。このようなこ い者、マイノリティとマ の歩みを着実に進めている に気持ち良く生きるため、 項対立を超え、個人が自由 す。男と女、健常者と障が 多様な生き方がありま

今こそ、生きる権利を市民の手で!



あたる昨年12月8日、私の一般質問でし また一歩前進させるよう提言しました。 た。人権に関する質問を行い、市の政策を 人権週間でしょうがいしゃ週間にも

の 玉 制 市 定 を 権 提 宣 案

問しました。市長からは、「前向きに検討 うたった宣言を制定してはどうか」と質 する」との答弁がありました。 り、差別を許さない、ソーシャルインク ありません。そこで、私は、「人権を守 た。私はこのことを評価していますが、 市長が直接責任を負えるようにしまし 権であるとして、今年度から市長室を創 ルージョンのまちをつくるという理念を しかし、国立市には人権に関する指針が 佐藤市長は全ての施策のベースは人 男女平等・人権・平和の係をおき、

オンブズマン制 審議会条例案」

度をつくるための審議会条例案を今議会 女性の人権に対応できるオンブズマン制

国立市は、私が提案してきた子どもや

!提案してきました。

が重要」との答弁がありました。 システム。訴えがあった時に、受けたオ 出しにくい子どもや女性が、訴えやすい 質問し、部長から、「独立性の確保。 声を きる制度にするための条件とは何か」と ういう弁護士などの選定をすることなど 信念を持って取り組むことができる、そ ンブズマンがそのことにしっかりとした そこで、「この条例がしっかり機能で

> までできる権限を教育委員会と連携の上 ブズマンが学校現場に入り、調査、勧告 ので、「その際は子どもの側にたったオン 体罰もその対象となるとの答弁があった た。しっかり見届けたいと思います。 から「それは可能」との答弁がありまし つくる必要があるか」と質問し、教育長

同 子どもにとって 点で仮称 の制定を提 共

されています。 やすい状況があります。一方、 に子どもをめぐってのトラブルがおこり 子どもの養育については両方に義務が課 諸外国では離婚後は共同親権が多い 日本は単独親権であるため、離婚時 民法では

提案しました。この提案に対しては、市 部署の研究会の結果を踏まえて検討した から「今開かれている当事者団体と担当 利益をはかる責務にたち、基本となる理 い」との答弁がありました。 念を定めた条例をつくってはどうか」と そこで、私は「子どもにとって最善の

女 性職 ツ

が働きやすい職場!のコンセプトのもと リーダーシップ研修の報告には、女性が自 分の能力を発揮し、働きやすい職場は誰も いくつもの貴重な提案が出されました。 私の提案で実現した女性職員による 女性職員が考えたリーダーシップと

【私の意見】学校における子どもへの

女性 ざまな問題に応じ ることができる「実 冢づくり」共同研究 の貧困等さま

りました。 とめて理事者に報告する」との答弁があ 提案がされた段階である。12月で取りま シェアハウスや、既存の食堂を利用した られるか。研究会では空き家を活用した 会のテーマは、生活困窮やDV被害者の は、定着までのシステムがない。③研究 者の入口ではない。②就労支援について 政の課題は、①市役所の窓口だけが相談 その進捗状況について、担当部長から、 に応じることができる「実家づくり」の 女性たちによるコミュニティビジネスの 協働モデルとしてどのようなことが考え など新たな仕組みづくりだが、具体的な 女性が自立する居場所づくりと資金提供 共同研究を、市民とともに進めています 『実家づくり』研究会から見えてきた行 市では、女性の貧困等さまざまな問題

度いっぱい研究会を延期してほしいとの 格的な議論ができてきたところで、今年 参加されている市民からは、やっと本

タルヘルスにも対応できる相談窓口の設 長からは、「こうした提言を受けとめてア 置等が必要との提案がなされました。部 クシャルハラスメントなどの研修、メン ることにある、そのために、マタニティー なく、横に広がる助け合える職場をつく は上意下達型のボスのいる縦の職場では ハラスメント、パワーハラスメント、セ

クションプランをつくっていきたい」と の答弁がありました。 要望が出ているので「ぜひ延期して成果 を出して」と意見しました。 の

計画 次期 れるべきと提 男 に性的少 女平等推 一ついても一的少数者

がありました。 職員や市民向けに行っていく」との答弁 自体の認知度を高める研修やセミナーを げられている。今後市としてもLGBT 市民委員会で課題のひとつとして取り上 ル・マイノリティ=性的少数者であるし ても入れるべき」と提案、担当部長から、 ル、トランスジェンダー)の人権につい GBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシャ 「現在進行している国立市男女平等推進 次期の男女平等推進計画に「セクシ

を設定し実現させました。 と国立市への提言」と題して説明する場 るという事実への理解はまだまだです。 が、男と女だけではなく、多様な性があ 20人にひとりはLGBTと言われている して「セクシャル・マイノリティの現状 の方々が、市長・副市長・関係部署に対 今回、質問するにあたり、私は当事者 【私の意見】LGBTは人口の5・2%

どです。早急な取り組みを求めました。 的な日となった」と佐藤市長が述べたほ でした。「今日は国立市役所にとって歴史 民向け学習会にも、学校現場にも、子ど 必要性など、そのまま職員研修にも、市 もたちにも使えるすばらしいプログラム パートナー証明書の発行、教育と研修の に始まり、市民が使えるシステムづくり、 セクシャル・マイノリティの基礎知識